EEDL Reports
Vol.12
FY2026

EEDL Newsletter

群馬大学 環境エネルギー設計研究室 定期ニュースレター 2026 October

群馬大学理工学部 電子情報通信プログラム
環境エネルギー設計研究室
Environment and Energy Design Laboratory

Contents:

表紙 1
EEDL室長より 2
研究紹介 3
メンバー紹介 8
留学生より 11



2026年のEEDL

2026年度の環境エネルギー設計研究室は、先生と学生合わせて総勢22名でスタートしました！
6月からは、事務スタッフの木村さん、10月からは博士後期課程のZahraさんと研究生の鄒さんが加わり、さらにパワーアップしています。

2025年の総括

- 室内環境グループの6名が「室内環境学会学術大会」にてポスター発表をしました。
- 核融合プラズマグループの5名が国際会議「14th International Conference on Open Magnetic Systems for Plasma Confinement」にて発表しました。
- フランスのESIEE Parisから交換留学生5名が来ました（9月～2月）
- 第16回電気学会群馬・栃木支所合同研究発表会において、当研究室の井上が優秀論文発表賞を受賞しました。
- 高橋教授が監修した特集記事が、情報誌「めりぃさん」に掲載されました。
- 研究室でスポーツ大会を開催しました。

Environment and Energy
Design Laboratory
Gunma University

EEDL室長より



髙橋 俊樹

主な研究：磁場反転配位(FRC)プラズマの物理, アドヴァンスド核融合, 交通流のシミュレーション, プロセスプラズマのモンテカルロシミュレーション

趣味：ジョギング, サッカー, 将棋, 音楽鑑賞

Please, please help me, AI!

皆さんこんにちは。2026年度も始まり、すでに前期は終わりました。しかし、いまだに今年度のニュースレターの発行ができておりませんでした。楽しみにしている方々（そんなマニアックな方々がいらっしゃるのかどうか…）には申し訳ございません。学生の記事の準備はできていたのですが、私のこの挨拶文の寄稿が遅れたのが原因です。どうも、すみません。最近、文章をまともに書いていないんですよ。AIのせいで。そんなわけで只今、この挨拶文の作成に四苦八苦しているところであります。

私がAIを使い始めたのは、2025年の8月くらいからです。苦手としている科研費の作文を手伝ってもらったのがきっかけです。科研費は、日本で最も規模の大きい競争的研究費です。年に一度、研究者が必死になって申請書を作成します。大学が独立法人化して研究室に配分される予算が年々少なくなる中で、科研費の採択は研究室の命運を左右するほど重要になりました。私は人生で2回しか採択されたことがありません。毎年毎年、「不採択」の漢字3文字を突きつけられ、1週間くらいはドンヨリ沈み込みます。研究室の学生が不憫で仕方ない。自分では頑張って作成しているつもりです。でも、どうしても自虐が文章からにじみ出てしまいます。私は、「ヒロシです」みたいな自虐ネタが大好きです。一方、子供の頃から自慢するのが性格的に苦手でした。しかし、採択された科研費の文章を見せてもらうと、最初から最後まで自慢とセルフブランディングのオンパレードです。すごさ感を審査員にアピールしないといけないから当然です。ですが、私は得意ではありません。（今もこうやって、苦手をアピールしています。）この劣等感を抱えながら、いやいや作文していました。そんなときにAIが登場してくれました。「こいつは使える！」と感動し、対話を重ね、採択される申請書っぽいものが完成しました。これでもし採択されなかったら私の作文能力のせいではない。計画そのものがだめだったということになります。基盤(B)と挑戦的研究（萌芽）という2種類の申請区分に提出しました。

運命の結果発表は2026年2月27日。「今年はAIが手伝ってくれたし、大丈夫」と信じ、結果閲覧のための快心のクリックをしました。2件とも「不採択」でした。しばらく固まり、しばらく頭を抱え、そして2026年度の未来を予測し、悲しい気持ちになりました。うーん、作文じゃなく計画そのもの、または私の実績そのもの、が評価されなかったのね。愕然としましたが、しばらくすると清々しい気持ちになりました。表面だけ取り繕っても仕方ないことだと。今後は、研究成果をしっかり積み上げながら、より魅力的な研究計画を立てよう。というわけで、また新たな研究計画立案に対して、please, please help me, AI!

「そんな姿勢を改めたほうがよいのかも」と、頑張ってAIなしに書いてみました。今年度もよろしくお願いします。



令和8年10月26日
髙橋 俊樹

研究紹介

EEDLは室内環境グループと核融合プラズマグループに分かれています。それぞれのグループからあわせて5名の研究をご紹介します。

核融合プラズマグループ



自己紹介

学年：D1

名前：張思宇

趣味：ゲーム, 音楽, 映画

研究内容 ： 粒子動力学, 軌道トポロジー, 波動伝播, ソフトウェア開発

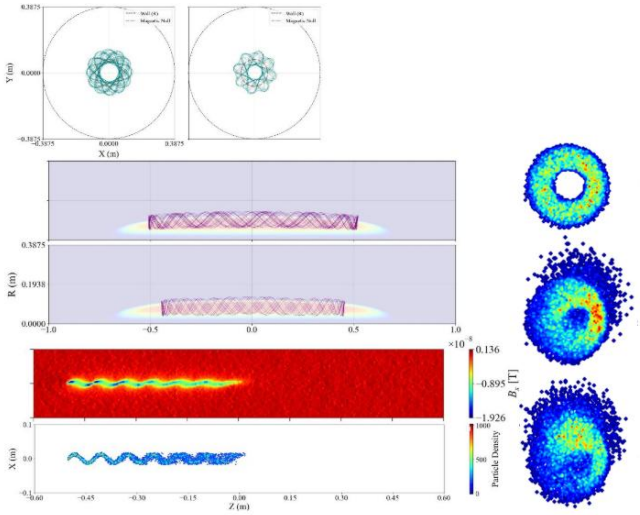
博士後期課程1年　張 思宇

本研究は、磁場反転配位（FRC）および粒子加速器における複雑なプラズマ動態を解明するため、スーパーコン上のMPI並列計算環境を駆使したFull-PICコードの開発と応用を行った。FRCのような高核融合プラズマの閉じ込め解析や、加速器における空間電荷効果が支配的なビームの理解は、次世代の核融合炉および加速器技術の発展において極めて重要である。しかしながら、これらのシステムにおける多階層的な非線形相互作用を高い数値精度で完全に再現することは、多大な計算コストと高度なアルゴリズムを要求するため、依然として重要な計算物理学上の課題となっている。

本研究で開発したFull-PICコードでは、粒子の運動方程式の求積にBorisソルバーを採用し、電磁場の時間発展にはFDTD（有限差分時間領域）法を適用した。さらに、厳密な電荷保存則を満たし、数値的なノイズを抑制するために、Villasenor-Buneman電荷堆積アルゴリズムを実装している。これらの高度な計算手法を統合し、大規模なMPI並列処理を行うことで、膨大な粒子数に対する高精度な計算をスーパーコンピュータ上で高効率に実行する体制を構築した。

開発したコードの有用性を実証・解析するため、本研究では主に二つの物理現象に焦点を当てた。第一に、FRCプラズマ中における全粒子の軌道シミュレーションを実施し、複雑な磁場配位下での非線形な粒子軌道を詳細に可視化・解析した。第二に、加速器内における空間電荷効果を伴うビーム動力学を模擬し、ビームの拡散やエミッタンスの増大過程を評価した。解析の結果、VBアルゴリズムによる厳密な電荷保存とFDTD法による高精度な場計算が、長時間のシミュレーションにおいても物理的整合性を維持し、非物理的な加熱を効果的に抑制することが確認された。

これらの結果は、本開発のFull-PICコードが、FRCの粒子閉じ込め特性の最適化や、加速器における大電流ビームの安定性評価に対して強力な解析ツールとなることを示している。本研究によって得られた計算物理学的な知見と軌道・ビーム解析の結果は、今後の先進的核融合装置の設計指針の確立や、高品質な粒子加速技術の高度化への基盤的な貢献となることが期待される。



核融合プラズマグループ

博士前期課程2年　井上 瞬

本研究では、焦電結晶を利用した焦電核融合装置を対象として、数値シミュレーションによる粒子軌道解析を行い、陽子の生成・加速過程および固体ホウ素標的への衝突特性について調査した。焦電核融合は、小型かつ比較的簡便な構成で高電場を形成できる特徴を有しており、コンパクトな核融合中性子源や荷電粒子加速技術として注目されている。しかし、生成されたイオンが実際に標的へどの程度到達するか、また、その効率に電極構造や加熱条件がどのように影響するかについては、十分に明らかになっていない。

この研究円盤型・針型・円筒型の3種類の電極形状を有する焦電核融合装置モデルを構築し、焦電結晶の温度変化によって形成される静電場分布を計算した。その結果、装置内に形成される最大電位は結晶温度差に比例して増加することが確認された。また、電子衝突による水素の電離過程を導入し、陽子が生成される位置や、その後の加速・輸送過程を解析した。解析の結果、電場構造の影響により生成された陽子の多くが横方向へ偏向し、標的へ到達せずに失われることが示された。

さらに、結晶加熱温度および電極形状を変化させながら、固体ホウ素標的への陽子衝突率を系統的に評価した。その結果、適度な温度差条件において最も高い衝突率が得られる一方、過度に強い電場条件では電子が急激に加速されることで、電離に適したエネルギー領域を短時間で通過してしまい、結果として電離領域が外側へ移動し、陽子生成効率および標的への指向性が低下することが分かった。

これらの結果は、焦電核融合装置における陽子照射効率が、電極構造・電離位置・結晶加熱条件の相互作用に強く依存していることを示している。本研究で得られた知見は、今後の焦電核融合装置の高効率化や、標的指向型イオンビーム生成条件の最適化に向けた基礎的指針となることが期待される。



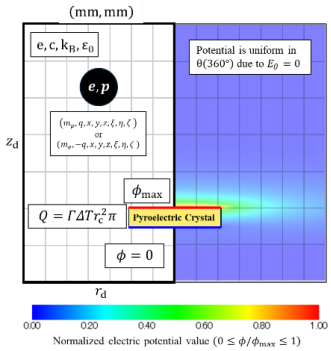
自己紹介

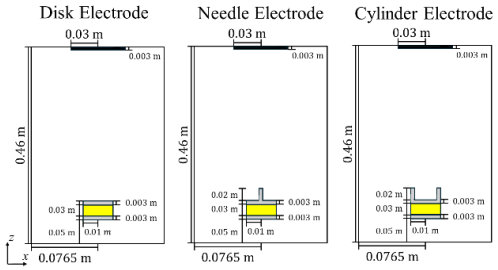
学年：M2

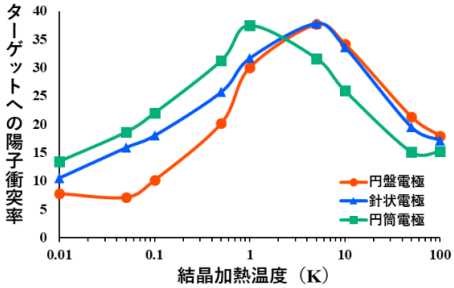
名前：井上 瞬

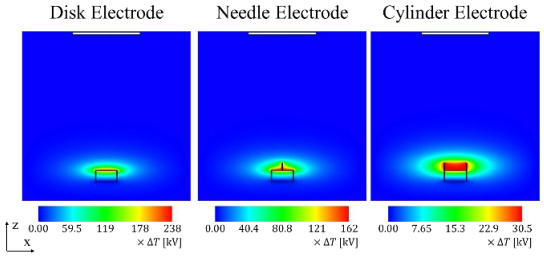
趣味：Javaで遊ぶ, Minecraft

研究内容 ： D-D反応に関わる焦電核融合装置を用いた中性子源の開発を目指しています。できれば核融合をその目で見たい









核融合プラズマグループ



自己紹介

学年：M1

名前：徐 宇軒

趣味 ： CSGO, 世界経済学, 料理

研究内容：焦電核融合, 数値シミュレーション

博士前期課程1年　徐 宇軒

本研究では、焦電結晶を用いた小型イオン加速器を対象として、電場形成およびイオンビーム輸送特性を数値解析により明らかにすることを目的とする。焦電結晶は、温度変化によって結晶表面に電荷を生じる性質を持ち、その表面電荷によって周囲に高電場を形成する。この電場を利用することで、大型の高電圧電源を用いずにイオンを加速できる可能性があるため、焦電結晶型イオン加速器は、小型で簡便な加速装置として注目されている。

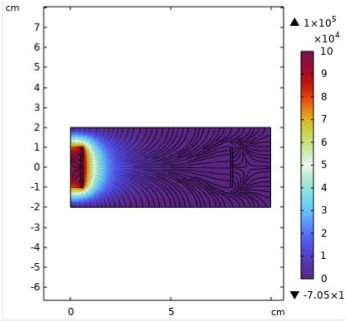
しかし、焦電結晶型イオン加速器においては、結晶表面に高電場が形成されるだけでは十分ではない。実際にイオンを効率よく加速し、目的のターゲットまで輸送するためには、電極形状、電極間距離、ターゲット位置、真空領域の大きさなどの条件が重要になる。これらの条件によって電場分布が変化し、その結果としてイオンの軌道、ビームの広がり、ターゲットへの到達率も変化すると考えられる。そのため、実験を行う前に数値解析によって電場分布やイオン軌道を評価し、装置構造の妥当性を検討することが重要である。

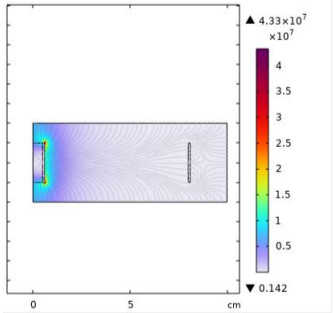
先行研究では、焦電結晶周辺に形成される電場や、代表的な電極構造を用いたイオン加速特性について解析が行われている。本研究では、これらの先行研究を基礎として、まず　COMSOL Multiphysics　を用いて焦電結晶、電極、真空領域を含む基本モデルを構築する。現在は、解析領域および電場モデルの作成を開始しており、今後は材料定数、境界条件、電位条件などを整理しながら、より妥当な解析モデルへ修正していく。

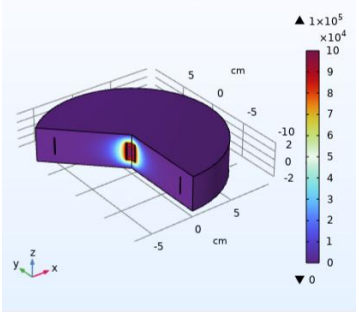
次に、作成したモデルを用いて静電場解析を行い、焦電結晶周辺や電極先端部における電場分布を可視化する。特に、電場が集中する位置や、イオン加速に有効と考えられる領域を確認する。その後、粒子追跡解析を導入し、イオンの初期位置、初期速度、電荷、質量などの条件を設定して、電場中でのイオン軌道を解析する。これにより、イオンがターゲットに到達する割合、到達位置のばらつき、ビームの発散傾向などを評価する。

本研究の特徴は、先行研究の単なる再現にとどまらず、電極構造やターゲット配置を系統的に変化させ、その影響を比較する点にある。具体的には、電極形状、電極間距離、結晶と電極の位置関係、ターゲットまでの距離などを変化させ、電場分布およびイオンビーム輸送特性の変化を調べる。これにより、焦電結晶型小型イオン加速器において、効率よくイオンをターゲットへ輸送するための構造条件を明らかにすることを目指す。

最終的には、COMSOL Multiphysics　を用いた電場解析および粒子追跡解析の手法を確立し、焦電結晶型小型イオン加速器の電極構造およびターゲット配置の最適化に向けた基礎的な設計指針を得ることを目標とする。







室内環境グループ

博士前期課程2年　劉　源

本研究は、室内環境における空気質の変動を低コストかつ高機能に監視するため、STM32マイコンを用いた多種類有害ガスモニタリング基板の試作と評価を行った。近年、建築物の高気密化に伴い、換気不足による二酸化炭素（CO2）の蓄積や、ホルムアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物（TVOC）による健康被害が問題となっている。特に、室内汚染の実態を正確に把握するためには、単一ガスではなく複数の有害ガスを同時かつ連続的に計測できる小型システムが必要であるが、市販装置は高価あるいは用途が限定的であり、家庭や小規模空間へ容易に導入できる多機能な計測基板の開発が課題となっている。

本研究で開発したモニタリング基板では、制御核にSTM32C8T6を採用し、アナログ出力型のMQシリーズセンサーとI2C通信型のSGP30センサーを統合した。アナログ信号には12ビットADCを適用し、10回平均化処理によってノイズを抑制するとともに、デジタルセンサーからはCO2およびTVOCデータを周期的に取得した。さらに、外部水晶発振器を用いたタイマー割り込みにより高精度なサンプリング周期を実現し、OLEDディスプレイへのリアルタイム表示、ブザー・リレーによる警報機能、およびESP8266を介したWi-Fi通信によるクラウド転送を組み合わせることで、多種類ガスの統合監視を行う計測基板を構築した。

開発した基板の有用性を実証するため、本研究では主に二つの環境に焦点を当てた。第一に、通常の室内環境における連続計測を実施し、CO2濃度は約730～770 ppm、TVOC濃度は約280～320　ppbの範囲で安定して推移することを確認した。第二に、喫煙環境下での応答性評価を行い、CO2濃度が瞬間的に約20,000　ppmまで上昇し、その後も高濃度状態を示すとともに、TVOC濃度は最大7,800　ppbに達した後も長時間にわたり高い値を維持した。これらの結果から、本システムは急激な空気質悪化を即時に検出できるだけでなく、残留汚染に起因する三次喫煙リスクの把握にも有効であることが示された。

これらの結果は、本研究で試作した多種類有害ガスモニタリング基板が、室内空気質の連続評価、異常ガス発生の早期検知、および長期的な汚染リスクの可視化に対して有効なツールとなることを示している。本研究によって得られた回路設計、センサー統合、および実環境計測に関する知見は、今後のスマート住宅や健康管理支援システムへの応用に向けた基盤的な貢献となることが期待される。今後は、Wi-Fi通信の安定性向上や外装筐体の設計・製作を進め、より実用性の高い室内空気質モニタリングシステムへ発展させる予定である。



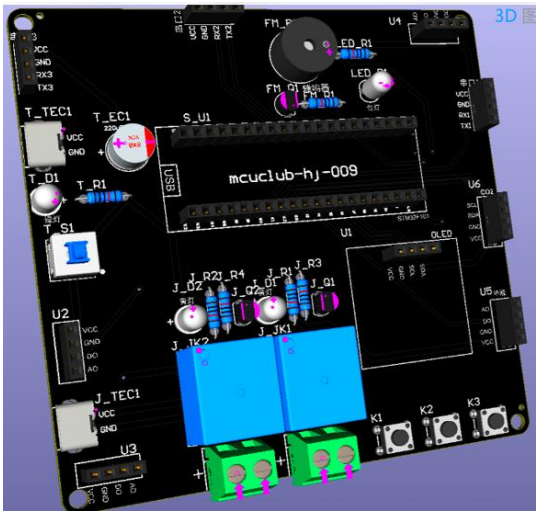
自己紹介

学年：M2

名前：劉源

趣味：麻雀, ゲーム, 音楽

研究内容 ： 回路設計, センサ応用, マイコン応用開発



室内環境グループ



自己紹介

学年：M2

名前：王照星

趣味 ： CCG，ACG，VRChat

研究内容 ： 静電集塵, 数値シミュレーション, 機械学習 , LSTM予測

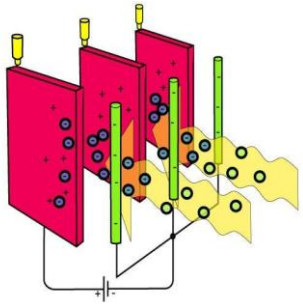
博士前期課程2年　王 照星

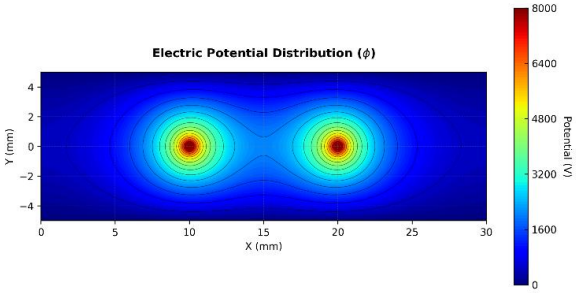
本研究は、室内環境における粒子状物質、特に PM2.5 やサブミクロン粒子の挙動を対象とし、数値シミュレーションと人工知能を融合した予測・解析手法の構築を目的とする。湿式静電集塵装置を対象に、電場分布、粒子帯電、流体輸送および粒子運動を考慮した数値解析を行い、ミスト導入による粒子の凝集・粗大化と捕集効率向上のメカニズムを明らかにする。

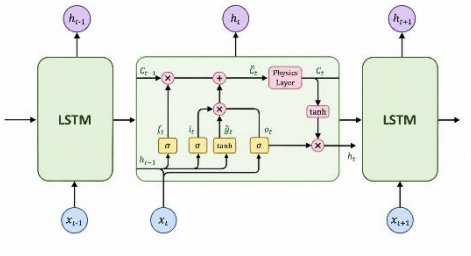
さらに、室内空気質データを用いて、機械学習および深層学習による PM2.5 濃度予測にも取り組む。温度、湿度、CO2、TVOC、PM10、在室状況、換気状態などの時系列データを入力とし、LSTM などのモデルによって短時間先の PM2.5 濃度を予測する。現在の検討では、単純なデータ駆動型モデルではデータの時系列相関が弱い場合に十分な予測性能を得にくく、物理的整合性や未知条件への外挿能力に課題があることが示唆されている。

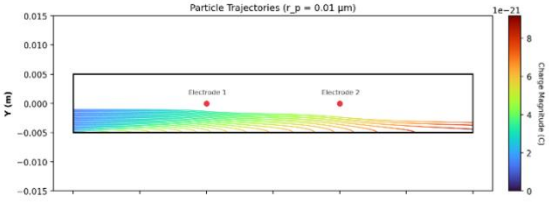
そこで本研究では、物理情報機械学習および物理情報ニューラルネットワークの考え方を導入し、物理法則に基づく制約を深層学習モデルに組み込むことを目指す。単なるデータフィッティングではなく、物理的に一貫した予測モデルを構築する。

また、静電除塵に関しては、従来の数値シミュレーション結果をそのまま学習するのではなく、シミュレーション値と実測値の差分、すなわち残差を機械学習モデルに学習させる手法を検討する。これにより、物理モデルの説明性を維持しながら、実際の複雑な誤差をデータ駆動的に補正することが可能となる。最終的には、数値シミュレーションと AI を統合したハイブリッドモデルを構築し、室内粒子挙動の予測精度、汎用性および静電除塵装置の性能評価能力を向上させることを目指す。









EEDLメンバー自己紹介

環境エネルギー設計研究室の構成員を紹介します。

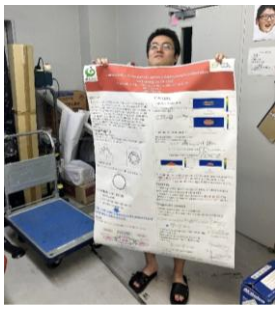
・教授：髙橋 俊樹 先生
・研究室事務スタッフ：木村綾香さん
・博士課程1年生：3名（うち留学生 2名）
・修士課程2年生：8名（うち留学生 3名）
・修士課程1年生：5名（うち留学生 2名）
・学部4年生：5名
・研究生：2名

研究紹介に登場した5名以外のメンバーを紹介します。

高橋 透（D1）

本研究室に配属されてから今年で4年目になりました。研究室では磁場反転配位と呼ばれるFRCプラズマ粒子に関する計算を行っています。

最近の趣味は麻雀（雀魂サーバーランキング170位です）、アイドル（最近は櫻坂46）、サウナ。



北島 大暉（M2）

趣味：ポケモン、ドライブ、スタバ

研究内容：シミュレーションソフトを用いて空気清浄機の性能評価や、設置場所と除去効率の関係ついての分析、研究を行っています。



菅原 悠（M2）

趣味・特技：鍋奉行、アイドル、競走馬鑑賞

研究内容：湿度由来の花粉膨張・破裂による室内環境への影響をシミュレーションによって解析しています。



由里 哉登（M2）

趣味：旅行、音楽・映画鑑賞

研究内容：核融合プラズマに関する研究をしています。その中でも、ビームでプラズマを加熱させることで閉じ込める研究に注力しています。



佐藤 達哉（M2）

趣味：ゲーム、音楽、自炊

研究内容：パーティクルカウンターで測定した室内環境データを用いて、室内空気清浄スマホアプリの開発をしています。



彭 宇嵩（M2）

趣味：麻雀、fpsゲーム、音楽鑑賞

研究内容：機械学習・深層学習による微粒子濃度の予測とその応用



EEDLメンバー紹介-2

福野 泰己（M1）

趣味：ボードゲーム、旅行、卓球、ゲーム

研究内容：ミストによる微粒子の凝集と静電捕集を組み合わせ、捕集性能の向上を目指す湿式静電集塵システムの開発をしています。



太田　悠登（M1）

趣味：コーヒー探求、ライブ、旅行、テニス

研究内容：パーティクルカウンタを用いた環境微粒子の再飛散挙動の解明と、AIによる行動検知への応用に関する研究を行っています。

小林 健太郎（M1）

趣味 ：ピアノ、格闘ゲーム

研究内容：シミュレーションソフトを用いて、壁面における微粒子の沈着挙動の再現に取り組んでいます。



左 智超（M1）

趣味：登山、ゲーム、アニメ、映画、本、音楽

研究内容：シミュレーションを用いてプラズマを研究すること



李　健祥（研究生）

趣味：音楽、映画、スポーツ、旅行

研究内容：室内環境班



鄒 維子（研究生）

趣味：アニメ鑑賞、ヒップホップ音楽

研究内容：FRCにおける物理量の数値解析



EEDLメンバー紹介-3

三浦 翔永（B4）

趣味：バドミントン、ゲーム、映画

研究内容：シミュレーションソフトを用いて、室内における空気清浄機の設置位置が花粉の除去効率に与える影響について研究しています。





鈴木 勇登（B4）

趣味：環境保全

研究内容：核融合プラズマに関する研究。具体的にプラズマの粒子一つ一つをシミュレーションして様々な現象を観察します。



野澤 傑（B4）

趣味 ：甘いもの, 飲み会, 食べること

研究内容：焦電結晶の温度特性と分極特性



小泉 涼介（B4）

趣味：サッカー、ゲーム、アニメ

研究内容：シミュレーションソフトを用いて、FRC（磁場反転配位）プラズマにおける粒子の閉じ込めの解析をしています。



森下将多（B4）

趣味 ・特技：バスケ部歴10年、飲み会大好き、映画館で映画鑑賞（今年から）

研究内容：BNCTというがん治療法に必要な中性子源の開発に向けた焦電結晶による重水素イオン加速の研究





木村 綾香（事務補佐員）

趣味 ： パン作り・我が子の成長観察

研究内容： 研究室の美化、研究費の適正な運用、高橋俊樹教授および研究生の生態について分析や研究を行っています。

EEDL Paris

当研究室ではほぼ毎年、フランスの大学ESIEE Parisから留学生を受け入れています。
2025年は、10月から翌年2月にかけて、5名の留学生がやってきました。
そのうちの3名に尋ねた ”Eight Questions & Short Message” を紹介します。

Kevin KAO

Q1. What is your name?
My name is Kevin KAO

Q2. Why did you decide to study abroad in Japan?
I chose to study in Japan, because I was interested in Japanese culture, Japanese history, its different landscapes, and also about his advanced technologies such as automatic toilets.

Q3. What is something you really want to try or experience in Japan?
I really want to experience the onsen in Japan as there is none in France, and also to have discussions with local japanese people in daily life.

Q4. Is there anything from French culture, traditions, customs, food, or places that you would especially recommend to Japanese people?
I would recommend going to Paris as it is the capital of France, and as there are a lot of activities and monuments to visit.

Q5. What kind of research are you doing in this laboratory?
I am doing research on how to efficiently confine plasma in order to find a new friendly environment way to generate electricity.

Q6. What is your favorite place that you have discovered in Kiryu?
In Kiryu my favorite place is Maruwa, a ramen restaurant with very delicious ramen.
Otherwise I love to take the bike and cycle around the city, and have a view of the local neighborhood and mountains.

Q7. What do you think is the biggest difference between France and Japan?
The biggest difference is in the way people act. In Japan, people pay a lot of attention to respect to rules and of everyone, while in France people are more friendly but the city is less organized and clean as compared to Japanese cities.

Q8. When you return to France, what is the first thing about Japan you would like to tell people about?
I would tell people about how different Japanese people act compared to French people, the differences between French and Japanese cities, and also about the different and beautiful places Japan has.

Please write a short message for the readers of this newsletter
Thank you everyone for welcoming me into the lab, working and speaking with everyone feels very warm and comfortable!
My trip to Japan is thanks to everyone even better than it already is.

Please include your best photo taken in Japan



EEDL Paris-2

Daniele ROHAN

Q1. What is your name?
My name is Daniele Rohan

Q2. Why did you decide to study abroad in Japan?
Coming to Japan has been a dream of mine since I was a kid. I've always been fascinated by Japanese culture, the landscapes, and of course the whole manga world. So when I found out I could study abroad, I chose Japan, knowing it would be one of the best experiences of my life.

Q3. What is something you really want to try or experience in Japan?
As a football fan I would like to assist to a football match of the Japan national team.

Q4. Is there anything from French culture, traditions, customs, food, or places that you would especially recommend to Japanese people?
I would need three pages to fit all my recommendations, but to keep it simple, I'd advise you to visit Paris and explore every corner of the world's best city. Its culture, food, and history are unmatched. The best places to see include the Arc de Triomphe, the Eiffel Tower, and the Louvre, but there are many more. For the food, try raclette, boeuf bourguignon, viennoiseries, pastries, and of course the classic French "baguette"

Q5. What kind of research are you doing in this laboratory?
I am currently working on ways to optimize air purification using air purifiers.

Q6. What is your favorite place that you have discovered in Kiryu?
Joshu Jidori Ramen Maruwa

Q7. What do you think is the biggest difference between France and Japan ?
Japan tends to emphasize group harmony, with attention to respecting shared spaces, following rules, and maintaining smooth organization.
France, on the other hand, tends to highlight individual expression, encouraging open discussion, personal opinions, and flexibility in daily life.
Both countries value cooperation and respect, but they place the focus in slightly different places one more on the group, the other more on the individual.

Q8. When you return to France, what is the first thing about Japan you would like to tell people about?
I would say that it was exactly as we imagine Japan in France: a beautiful country with warm and welcoming people. I had a fantastic time in Japan.

Please write a short message for the readers of this newsletter.
Thank you for reading this newsletter. As exchange students, we encourage you to see the world and discover new cultures it is always rewarding. And if you want to come to France, don't hesitate to contact us. We will warmly welcome you, just as you all did for us!

Please include your best photo taken in Japan



EEDL Paris-3

Anatoli HAROUTIOUNIAN

Q1. What is your name?
My name is Anatoli HAROUTIOUNIAN

Q2. Why did you decide to study abroad in Japan?
I was always interested in going to Japan, as I loved the Japanese culture (especially due to my childhood with video games and anime), I also wanted to visit beautiful places like Tokyo, Osaka, Hokkaido, Fujisan and many others.

Q3. What is something you really want to try or experience in Japan?
One thing I really wanted to try in Japan was playing at a batting center, and I loved it. I was also interested in going to visit Tokyo, and I had so much fun visiting it.

Q4. Is there anything from French culture, traditions, customs, food, or places that you would especially recommend to Japanese people?
I would recommend all of you to try French cheese, and you should also try “khinkali” (not French food). And come visit France, there are many beautiful places, like the Eiffel Tower, le Louvre, or just Paris in general.

Q5. What kind of research are you doing in this laboratory?
I’m doing data science with a student, whose goal is to develop better indoor air purification systems.

Q6. What is your favorite place that you have discovered in Kiryu?
I really liked Maruwa Ramen.

Q7. What do you think is the biggest difference between France and Japan?
For me, the biggest difference I saw is the place of sports in society. (And also, people are very helpful in Japan)

Q8. When you return to France, what is the first thing about Japan you would like to tell people about?
I’ll tell everyone, how beautiful it was, and how I recommend all of them to visit it. And also, how Japanese food is so much better in Japan, compared to most French Japanese restaurants.

Please write a short message for the readers of this newsletter.
Hello everyone, I hope all of you readers are doing fine, that everything goes well in your life. If life is not looking good for you right now, that’s fine, keep believing and fighting, good days are coming. May your heart be your guiding key.

Please include your best photo taken in Japan

